

3. GPA制度について

(1) はじめに

GPAはGrade Point Averageの略で、各科目の成績を加重平均した数値です。この値は、1) 成績不振の学生をいち早く発見し、アドバイザーの教員を中心に適切な指導を行う、2) 学生に対して修得単位数だけでなく、個々の単位のレベルアップを図るよう喚起する、といった目的のために役に立ちます。

(2) GPAの算出方法

各科目の成績は次のようにポイント化されます。

点数	評価	ポイント
90～100点	秀 (S)	4
80～89点	優 (A)	3
70～79点	良 (B)	2
60～69点	可 (C)	1
59点以下	不可 (D)	0
受験資格なし	失格	0

このポイントを使って、以下の式でGPAを算出します。

$GPA = \text{各科目 (単位数} \times \text{ポイント) の総和} \div \text{各科目の単位数の総和}$

例えば、A、B、C、D、Eの5科目について、以下のような成績データがあるとします。

科目	単位数	点数	評価	ポイント	単位数×ポイント
A	1	68	可(C)	1	1
B	1	79	良(B)	2	2
C	1.5	72	良(B)	2	3
D	1.5	91	秀(S)	4	6
E	4	82	優(A)	3	12
合計	9(a)				24(b)

この場合のGPAの計算は次のようになります。

$$GPA = b \div a = 24 \div 9 = 2.67$$

学業成績通知表のGPA欄には、このようにして算出された単年度のGPA値と累計のGPA値が示されています。単年度のGPAは当該年度に履修した科目を対象とし、累積GPAは各学年の最終成績を対象として計算されます。

(3) GPAの対象とならない科目

- ・ 評点を示さず、評定または終了によって単位を修得した科目
- ・ 所属学科以外で修得した科目を単位として認めた科目
- ・ 所定の期間内に履修取り消しの手続きをした科目